(19)日本国特許庁 (JP)

# (12) 公開特許公额(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-309448

(43)公開日 平成6年(1994)11月4日

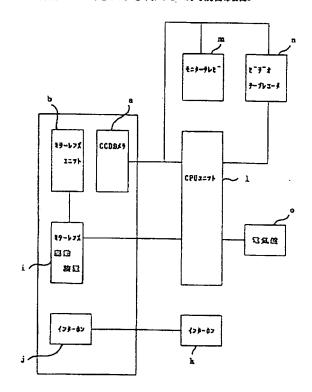
(51)Int.Cl.5		識別記号		庁内整理番号	FI					技術表示箇所	
G 0 6 F	15/64		Н	7 <b>63</b> 1 — 5 L				•			
		3 2 0	С	7631-5L							
E 0 5 B	49/00		R	9024-2E							
G06F	15/00	3 3 0	Ε	7 <b>459</b> -5L							•
	15/62	460		9071-5L							
				審査請求	未請求	請求項	の数1	書面	(全	4 頁)	最終頁に続く
(21)出願番号		特顯平5-127697			(71)	出願人	591133228				
					株式会社松村エレクトロニクス						クス
(22)出願日		平成5年(1993)4月21日					東京都	葛飾区	新小岩	台2丁目	3番3号
					(72)	発明者	松村	レミ			
							東京都	江戸川	区松剧	第2丁目	37番地28号
	•										
							•			-	

# (54)【発明の名称】 網膜や指紋又はその人物の特徴を利用した本人識別器 の光学部を利用した人物像撮像

# (57)【要約】

【目的】 本人識別器の光学部で本人特徴画像のみ撮像するのではなく、人物画像も撮像できるようにすることで、本人特徴像によるドアの開錠、モニターテレビでの人物の確認、VTRなどでの保存等ができる、従来品よりもセキュリティー性の高いシステムにすることである。

【構成】 従来の本人識別用光学部に人物画像撮像用の光学部を設けて、ミラー部とレンズ部を追加し、CCD部にどちらかの画像が入る様にミラー又はレンズ、CD部を動かして撮像する様になっている。



2

### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 本人識別器の光学部でミラー又は撮像レ ンズ、CCDカメラ部を動かすことにより本人識別画像 と人物画像の両方を撮像することが可能になり、本人識 別によるドアの開錠と人物の確認をモニターテレビで見 たり、VTRなどに記憶することにより、よりセキュリ ティー性の高いシステムにすることができる。

### 【発明の詳細な説明】

#### [0001]

【産業上の利用分野】本発明は、本人識別器を従来品よ 10 【0012】1のCPUユニットは本人で有ることを確 りもセキュリティー性の高いものにするためのものであ る。

#### [0002]

【従来の技術】従来の本人識別器の光学部は本人識別画 像の撮像専用であった。

#### [0003]

【発明が解決しようとする課題】人物像を撮像する為 に、従来の本人識別器を改良することである。

#### [0004]

【課題を解決する為の手段】従来の本人識別用光学部に 20 人物画像撮像用の光学部を設けて、ミラー部とレンズ部 を追加し、CCD部にどちらかの画像が入る様にミラー 又はレンズ、CCD部を動かして撮像する様にする。

#### [0005]

【実施例】図1~3は、本発明装置の1実施例の図であ る。

【0006】図1は、CCDカメラaによりレンズbを 通しミラーcに反射させプリズムdにのせられた本人特 徴像を撮像し、c'の様にミラーを回転させることによ りミラー f によりレンズ g を通して人物画像 h を撮像す ることができる方法である。

【0007】図2はミラーcをc'の位置まで移動する ことにより人物画像を撮像することができる方法であ

【0008】図3はCCDカメラaとレンズbをa'、 b'の所まで回転させることにより人物画像を撮像する ことができる方法である。

【0009】図4はこれらの撮像部を使用したシステム

の例で有る。

【0010】bのミラー、レンズ部にて本人特徴像と人 物画像を切換えるiの駆動装置により、aのCCDカメ ラにて撮像し、1のCPUユニットに画像を送り本人特 徴の解析を行うと同時にmのモニターテレビにて人物画 像を確認したり、必要であればnのビデオテープレコー ダーにて記録できる。

【0011】又、j、kのインターホンにて会話も可能 で有る。

認したならの電気錠に信号を送り解錠する。

【発明の効果】以上説明したような方法をとることによ り、これまで本人特徴像のみしか撮像できなかったもの が人物像も撮像できるようになり、本人特徴像で解錠す ると同時に人物の確認ができ、なおかつそれをVTRに 保存できセキュリティー性の高いシステムにすることが できた。

## 【図面の簡単な説明】

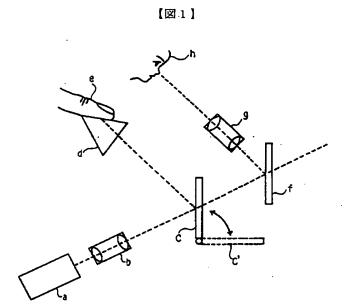
【図1】本発明装置の1実施例の図である。

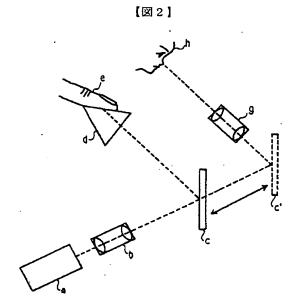
【図2】本発明装置の1実施例の図である。

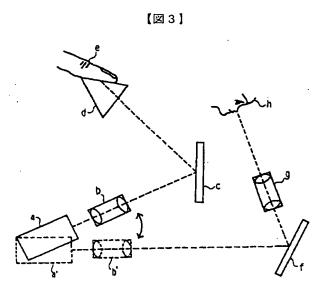
【図3】本発明装置の1実施例の図である。

【図4】本発明装置の撮像部を使用したシステムの例。 【符号の説明】

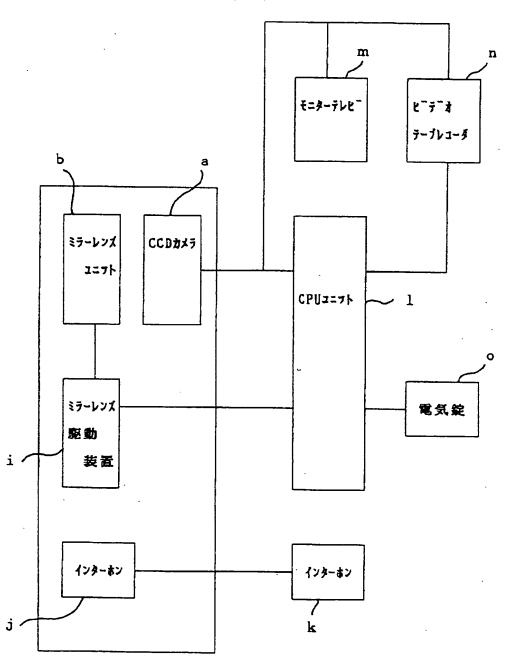
- a. CCDカメラ
- b. レンズ
- c. 指紋用ミラー
- d. 指紋用プリズム
- e. 指
- f. 人物用ミラー
- g. レンズ
  - h. 人物
  - i. ミラーレンズ駆動装置
  - j. インターホン
  - k. インターホン
  - 1. CPUユニット
  - m. モニターテレビ
  - n. ビデオテープレコーダー
  - o. 電気錠







【図4】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. <sup>5</sup>
G O 6 F 15/74

識別記号 庁内整理番号 350 A 7315-5L

FΙ

技術表示箇所